

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社

代 表 者 名 代表取締役 執行役員社長  
前田 哲宏

(コード番号 6839 東証第一部)

問 合 せ 先

( T E L 072-870-4395)

## 営業外費用等の計上ならびに第2四半期連結累計期間及び 通期の連結業績予想数値の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 1 四半期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)において、営業外費用等の計上を行うとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 16 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外費用の計上

メキシコペソ建売掛金に対するペソ安や米ドルに対する円高による為替差損が発生いたしましたので、2,938 百万円を営業外費用として計上いたします。

#### 2. 連結業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当 期純利益
平成 28 年 5 月 11 日 発表予想 (A)	百万円 77,900	百万円 1,100	百万円 400	百万円 200	円 銭 5.86
今回修正予想 (B)	70,600	△3,000	△6,900	△6,700	△196.37
増減額 (B-A)	△7,300	△4,100	△7,300	△6,900	
増減率 (%)	△9.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	86,570	△5,815	△7,093	△7,996	△234.36

(2) 通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当 期純利益
平成 28 年 5 月 11 日 発表予想 (A)	百万円 172,000	百万円 4,300	百万円 3,500	百万円 1,400	円 銭 41.03
今回修正予想 (B)	134,500	△4,000	△8,000	△8,200	△240.33
増減額 (B-A)	△37,500	△8,300	△11,500	△9,600	
増減率 (%)	△21.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	170,041	△10,539	△13,653	△33,839	△991.81

3. 第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想数値修正の理由

(1) 第1四半期の実績と第2四半期の見込み

売上高については液晶テレビの積極的な販売を進めましたが、北米の地域量販店において競合相手との価格競争が激しくなっていることにより、平均価格が下落していることに加え、販売数量が落ち込みました。メキシコ市場においても、ノンブランド低価格製品の進出が著しく、市場での平均価格が大きく落ち込んでいる状況にあります。これらの結果、液晶テレビ事業として売上は期初計画より約 20%減少となる見込みです。

インクジェットプリンターについても、北米市場で競合相手との価格競争により、販売数量が予想より若干落ち込んでおります。

営業利益については、売上の減少に加え、特に5月頃よりパネル価格の上昇が著しいこと、また旧型モデル在庫調整のために、液晶テレビの粗利益が大きく減少する結果となりました。情報機器ではインクカートリッジの販売が減少したため営業利益が減少しました。

経常利益、当期純利益についても、上記1に記載のとおり営業外費用が発生したことなどにより、前回予想より損失が増加する見込みです。

(2) 第3四半期以降の見込み

第3四半期以降についても、液晶テレビにおいては、価格競争やパネル価格については上昇した価格の横ばいが見込まれること、またインクジェットプリンターにおいても販売状況が厳しいと予想されること、また米ドルの為替レートについても期初予想の1ドル 112 円から 103 円に見直したことなどから、通期についても売上高の予想を修正いたしました。

利益については、上記の通り売上の減少が見込まれることから、営業利益、経常利益、当期純利益も合わせて修正します。

注: 上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上